



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぼやき…。

お米づくりはじめました



学校の近隣にはお米作りをされている方がいて、庭に苗がきれいに並べられ、田植えの日を待っているようです。本校は歩いて10分ほどの場所に田んぼをお借りして毎年米作りをしています。

本校にも 5 月 26 日に苗が届きました。

学級担任の頃は、大変な作業だなあと思っていました。とはいえ、日頃の管理は地域の方々に頼っているので、本当の大変さは分かっていませんでした。

お隣の入谷小に赴任した時は教務主任で、年間の作業をだいたい経験させていただいたので大変さを体で覚えました。(とはいえこれまた地域の方にお世話になりながら)

今年の田植えは6月10日です。それまで苗は、左上の写真のプールで半身浴しながらその時を待ちます。ただ、この間も水の管理が重要です。以前一度経験しましたが、少しでも水が無くなると、あっという間に変色して元気がなくなってしまいます。田植えの日までは、この緑を死守せねばなりません！

ちなみに今(6 月 2 日)は、右の写真のように布団をかぶって大事に大事に育てています。



このシルエットは…



木の剪定作業をしていただきました。すると、今まで木や草にかくれていたいくつかの銅像があらわになりました。逆光で見づらいですが、このシルエットは二宮金次郎像です。以前はかなりの学校に金次郎像があったと思いますが、最近ではめずらしい存在です。

座間市は夏季休業中の研修に教員対象の市内巡りがあります。本校にも立ち寄り、金次郎像の説明を受けます。

金次郎像は昭和初期に全国の小学校にこぞって設置されたそうです。理由はいくつかありますが、一つには勤勉・努力の象徴ということでしょう。それがなぜ今激減しているのか。その理由もいくつかあります。老朽化や学校の立て直しに伴う撤去…など。

最近では時代の流れがあるようです。例えば、歩きながらスマホを操作する行為を肯定しかねない、とか、歩いて本を読むのは危険だ！とか。今の時代にそぐわないということなのでしょう。

しかしながら、二宮金次郎の本質や偉業とは観点がずれているかな、という印象です。

ちなみに今年も教員が夏の研修で金次郎像のもとを訪れます。